

日本地域福祉学会 第31回大会

開催要項

大会テーマ

四国発！ふろしき型地域福祉の実践

～問題解決を目指した地域づくりとコミュニティソーシャルワーク～

大会趣旨

わが国では人口減少・少子高齢化が進み、とりわけ四国地方は、総人口が2040年に300万人を割り込み、およそ30年間で100万人近く減少することが予想されている。即ち、“超”少子高齢化が進む地域であり、様々な生活困難・課題を抱えつつある“課題先進地域”でもある。

このような状況下で、国レベルでは「地域共生社会の実現」「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現－新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン－」「我が事・丸ごと地域共生社会本部設置」といった施策を打ち出し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体化した新たな地域包括支援体制の確立を日本のすべての地域で進めることを目標としている。

日本地域福祉学会第31回大会では、こういった施策の展開を受けて、地域で生活する様々な生活課題を抱えた人々の問題解決につながるコミュニティソーシャルワークの発展を目指して、新たな地域福祉の実践を全国に発信することを目的とする。また、四国遍路の文化の中で育まれてきた、先人たちの“おもてなし”の精神を基調としたすべての人を包み込む“ふろしき”のような支援の実践も紹介したい。これを契機に、この大会の参加者である地域福祉の研究者と実践者が活発に意見を交換し、有機的な連携を深めることで、わが国全体の地域福祉の発展につながることを期待したい。

期日：2017（平成29）年6月3日（土）～4日（日）

会場：松山大学（愛媛県松山市文京町4番地2）

主催：日本地域福祉学会、日本地域福祉学会第31回大会実行委員会

後援（予定）：愛媛県 松山市 愛媛県社会福祉協議会 香川県社会福祉協議会
徳島県社会福祉協議会 高知県社会福祉協議会 松山市社会福祉協議会
愛媛県社会福祉士会 愛媛県民生児童委員協議会 愛媛県社会福祉法人経営者協議会
愛媛県老人福祉施設協議会 愛媛県保育協議会 愛媛県児童福祉施設連合会
愛媛県身体障害者施設協議会 愛媛県知的障害者福祉協会
松山大学 聖カタリナ大学 四国学院大学 四国大学 高知大学 高知県立大学

1 スケジュール

【1日目】 6月3日(土) 【会場】 松山大学 カルフルホール他

9:00	10:00	10:30	11:00	12:00	13:00	16:30	16:45	17:30	18:00	20:00
受付	開会式	優秀実践賞表彰式	基調講演	昼食	四国企画 シンポジウム	セッションⅠ	移動	総会	休憩・移動	俳句表彰 情報交換会 — 俳画パフォーマンス —

【2日目】 6月4日(日) 【会場】 松山大学 2号館、8号館他

9:00	9:30	12:00	13:00	16:15	16:45
受付	自由研究発表Ⅰ (口頭)	昼食・ 地方部会	自由研究発表Ⅱ (口頭)	閉会式	
	ポスター 発表掲示		ポスター発表掲示 13:00～14:00(質疑)		
	優秀実践賞報告		セッションⅡ		

※ 自由研究発表者の人数により、「閉会式」時刻が変更になる可能性があります。

※ 「地域福祉優秀実践賞報告」は受賞者数により開始時刻が変更になる可能性があります。

2 プログラム内容

基調講演 6月3日(土) 11:00～12:00

◇ 講演テーマ ◇ 「市長が描く福祉ビジョン」

■ 講師：管家 一夫 氏 (西予市長、社会福祉法人西予総合福祉会元理事長)

四国企画シンポジウム 6月3日(土) 13:00～16:30

◇ テーマ ◇

「四国地域福祉実践セミナー(こんぴら地域福祉セミナー)の軌跡

～課題先進地四国発、これからの地域福祉実践の新たな展開に向けて～

平成9年から20回に渡り開催されてきた本セミナーにおいては、各県・市町村社会福祉協議会を中心に、さまざまな住民組織や団体、NPO法人等が行っている地域福祉の実践報告から多くの学びを得た。セミナーを通じて、課題先進地といわれる四国の福祉課題・生活課題とは何かを探求し、そのような課題に取り組む地域福祉の実践が報告され各地域への波及が試みられてきた。本シンポジウムでは、各地域への広がりや蓄積の検証を行うとともに、これからの地域福祉実践の新たな展開にどのようにつなげていくのかを検討したい。

- 総括コーディネーター：大橋 謙策 氏 (東北福祉大学教授)
- 基調報告コーディネーター：日開野 博 氏 (四国大学教授)
- シンポジスト：島崎 義弘 氏 (社会福祉法人今治市社会福祉協議会地域福祉課長)
須山 美樹 氏 (特定非営利活動法人いちいの郷コーディネーター)
山口 浩志 氏 (特定非営利活動法人どりーまあサービス理事長)
日下 直和 氏 (社会福祉法人香川県社会福祉協議会事務局次長)

セッションⅠ 6月3日(土) 13:00～16:00

◇ テーマ ◇ 「地域のこども支援～子育て支援のあり方を問う～」

- コーディネーター：山村 靖彦 氏 (高知県立大学准教授)
- 登壇者：畠中 洋行 氏 (こうち子どもファンドアドバイザー)
野中 玲子 氏 (まつやま子ども食堂清水店代表)
竹内 俊一 氏 (NPO法人岡山未成年後見支援センターえがお理事長)
野町 文枝 氏 (社会福祉法人未知の会施設長)
- コメンテーター：下田 正 氏 (聖カタリナ大学名誉教授)

セッションⅡ 6月4日(日) 13:00～16:15

◇ テーマ ◇ 「社会福祉法人制度改革とこれからの地域共生社会の実現に向けて ～地域福祉研究者・実践者に求められるもの～」

- コーディネーター：石井 洗二 氏 (四国学院大学教授)
- 登壇者：原田 正樹 氏 (日本福祉大学教授)
菊地 月香 氏 (社会福祉法人同愛会施設長)
神野 洋行 氏 (社会福祉法人新居浜市社会福祉協議会常務理事)
岩城 貞時 氏 (社会福祉法人三好やまなみ会施設長)
- コメンテーター：渋谷 篤男 氏 (社会福祉法人全国社会福祉協議会常務理事)

③ 自由研究発表申し込み

1. **申込方法**：口頭発表とポスター発表のいずれかで大会専用ホームページからお申し込み下さい。
受け付け業務は東武トップツアーズ(株)に委託しております。

2. **参加申込**：参加申し込み締め切り **2017年3月24日(金) 24時締切**

申し込みには、演題と要旨集レジユメの登録が必要になります。原稿は下に説明する「自由研究発表の原稿様式」に基づき作成して下さい。原稿は①研究の目的、②研究の方法、③倫理的配慮、④結果・考察という基本的な枠組みを示して執筆して下さい。結果・考察について「当日資料配布」という未完成の原稿は認められません。

自由研究発表の原稿様式（フォーマット例は6ページ参照）

① 1発表につきA4縦1枚（横書き）

② 余白上下25mm 左右20mm

③ 文字数 1ページ 40字×40字

④ フォント 主 題：12ポイント MSゴシック・中央揃
副 題：10.5ポイント MSゴシック・中央揃
氏 名：10.5ポイントMS明朝
所 属：会員番号：9ポイントMS明朝
見出し：11ポイント MSゴシック
本 文：10.5ポイント MS明朝（だ・である調で記入）

⑤ 記述内容 1. 研究の目的、2. 研究の方法、3. 倫理的配慮、4. 結果・考察

3. **要旨書式**：要旨集レジユメの様式は大会用ホームページからダウンロードできます。必ず所定の書式に従って提出して下さい。提出された原稿は、研究倫理、様式等を確認した上で、版下として印刷・製本されます。

4. **発表資格**：日本地域福祉学会員であることが条件です。尚、以下についてのルールが守れないと発表資格が無いと判断されることがありますのでご注意ください。①発表者は**2017年3月末現在、日本地域福祉学会の会員として理事会で承認されていること**（3月末までに新入会が認められた場合、4月末までに入会金、会費を支払うこと）が前提です。②発表の**要旨集レジユメに、必ず会員番号をご記入ください**。共同研究報告で1名でも会員番号の記載が無ければ発表要旨の受理が出来ません（入会申請中の場合は、入会申請中と記入して下さい。入会が認められ次第、会員番号をお知らせしますので、後日会員番号の記入をお願いします）。③発表の申し込みをした会員は**2017年5月12日(金) 24時**までに大会参加費を指定口座に振り込んで下さい。④2016年度分までの学会費は事前に必ず納入しておいてください。

5. **発表件数**：筆頭発表者（ファースト・オーサー）は1演題に限ります。したがって、演題の申し込みは必ず筆頭発表者が行ってください。演題の申込者と筆頭発表者が異なる場合は受理できません。なお、筆頭発表者は発表とは別に、他の研究発表等で共同研究者として名前を連ねることは可能です。

6. **演題採択**：査読の結果、原稿の修正等を求めることがあります。修正を求められた場合には、修正コメントに基づいて指定した期日までに再提出をしてください。再提出がされない場合には、発表を受け付けられません。

7. 分科会：自由研究発表(口頭)を申し込まれる場合には、希望する分科会を以下のリストの中から
お選びください。

第 1 分科会	理論・歴史 地域福祉に関する理論・歴史
第 2 分科会	制度・政策、権利擁護 地域福祉に関する諸制度、政策、成年後見等の権利擁護等
第 3 分科会	主体・提供組織 行政、社協、ボランティア・NPO、住民組織、社会起業等
第 4 分科会	対象・対象者 高齢者、障害者、児童、生活困窮者、外国人等
第 5 分科会	地域福祉(活動)計画、運営管理 地域福祉計画、地域福祉活動計画、運営管理、評価等
第 6 分科会	地域福祉の諸活動 小地域福祉活動、見守り活動、サロン・居場所づくり活動等
第 7 分科会	地域福祉の方法 ケアマネジメント、ネットワーク、コミュニティソーシャルワーク等
第 8 分科会	福祉教育・福祉文化 学校教育、社会教育、ボランティア学習等
第 9 分科会	社会福祉施設・社会福祉法人 社会福祉施設、社会福祉法人による地域における公益的な取組等
第 10 分科会	災害と地域福祉 災害時要援護者支援、福祉避難所支援、災害ボランティア支援等

4 発表方法

1. 自由研究発表(口頭)

- (1) **発表時間**：1発表につき25分(発表15分、質疑10分)となります。
- (2) **発表方法**：パワーポイント等の映写目的のプロジェクター及びその他の視聴覚機器の使用は出来ません。あらかじめご了承ください。
- (3) **配布資料**：当日の配布資料がある発表者は、**50部**を目安に当日持参して下さい。**大会事務局では、印刷・コピー業務は対応できません**のでご注意下さい。また配布資料の作成については、日本地域福祉学会の「研究倫理指針」を十分確認してください。
- (4) **資料配布**：当日配布資料は、発表開始15分前までに会場の係員にお渡し下さい。資料は、発表の直前に係員より会場の参加者に配布されます。

2. ポスター発表

- (1) **掲 示**：ポスター発表会場内の所定の場所(後日指示します)へ、6月4日(日)9時までに持参ポスターを各自で掲示して下さい。掲示範囲は縦180cm・横90cmです。
- (2) **タイトル**：ポスター最上部に、発表タイトル・発表者名・所属を明記して下さい。
- (3) **質疑応答**：ポスター発表者は、6月4日(日)13～14時の時間帯は、必ずポスター発表会場に在席して、参加者からの質疑に答えて下さい。

自由研究発表 様式見本 (A4サイズ)

(* 1行空白)

主題:12pt MSゴシック・中央揃
— 副題:10.5pt MSゴシック・中央揃 —

氏名10.5pt MS明朝 (所属・会員番号9pt MS明朝)
○四国 太郎 (□□大学・会員番号)、四国 花子 (△△大学・会員番号)
* 共同研究の場合は、筆頭報告者の氏名に○印をつける。

1. 研究目的 (見出し 11pt MSゴシック、本文10.5pt MS明朝)
2. 研究の方法 (見出し 11pt MSゴシック、本文10.5pt MS明朝)
3. 倫理的配慮 (見出し 11pt MSゴシック、本文10.5pt MS明朝)
4. 結果・考察 (見出し 11pt MSゴシック、本文10.5pt MS明朝)

Dimensions: 25mm (top and bottom margins), 20mm (left and right margins).

5 大会参加申し込み

1. **申込方法**：大会専用ホームページからお申し込み下さい。受付業務は**東武トップツアーズ(株)**に委託しております。なお、保育や手話通訳等をご希望の方は、大会専用ホームページで詳細をご確認の上、お申し込み下さい。

大会専用ホームページは、**日本地域福祉学会**で検索。

2. **申込期日**：事前申込締め切り **2017年5月12日(金) 24時締切**

3. **参加費**：会員・非会員 事前申込 8,000円
会員・非会員 当日申込 10,000円
大学院生 4,000円
学部学生 2,000円

※非会員、大学院生、学部学生の1日だけの参加は半額となります。

※申込み後の返金には一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。

4. **情報交換会**：情報交換会の参加費は以下になります。

事前申込のみ 4,000円

5. **昼食**：昼食としてお弁当を事前に申し込むことができます。会場周辺にも昼食を取れる店はありますが、混雑が予想されるため出来るだけ事前にお申し込み下さい。

お弁当(お茶付税込) 1食 1,000円

※2日間とも昼食(弁当)をご希望の場合は2,000円になります。

6 特別企画・前日企画

開催地特別企画として、『**地域福祉**』をテーマにした**俳句を募集します**。6月3日(土) 12~17時に投句箱を設置しますので、当日配布する短冊に記入して投句をお願い致します。入選作は、情報交換会で俳画パフォーマンスにより紹介されます。

大会前日企画として『**松山ハイク道後めぐり**』と『**地域福祉実践現場探訪**』を用意しております。大会専用ホームページ及び同封のチラシに詳細が記載されていますので、内容をご確認の上お申し込み下さい。

※なお、前日企画のみの参加はできません。

※「松山ハイク道後めぐり」は、申込先が異なりますのでご注意ください。

『松山ハイク道後めぐり』

大会当日に俳句作りを体験する前に、道後観光と俳句レクチャーを同時に味わえる先乗りツアーです。

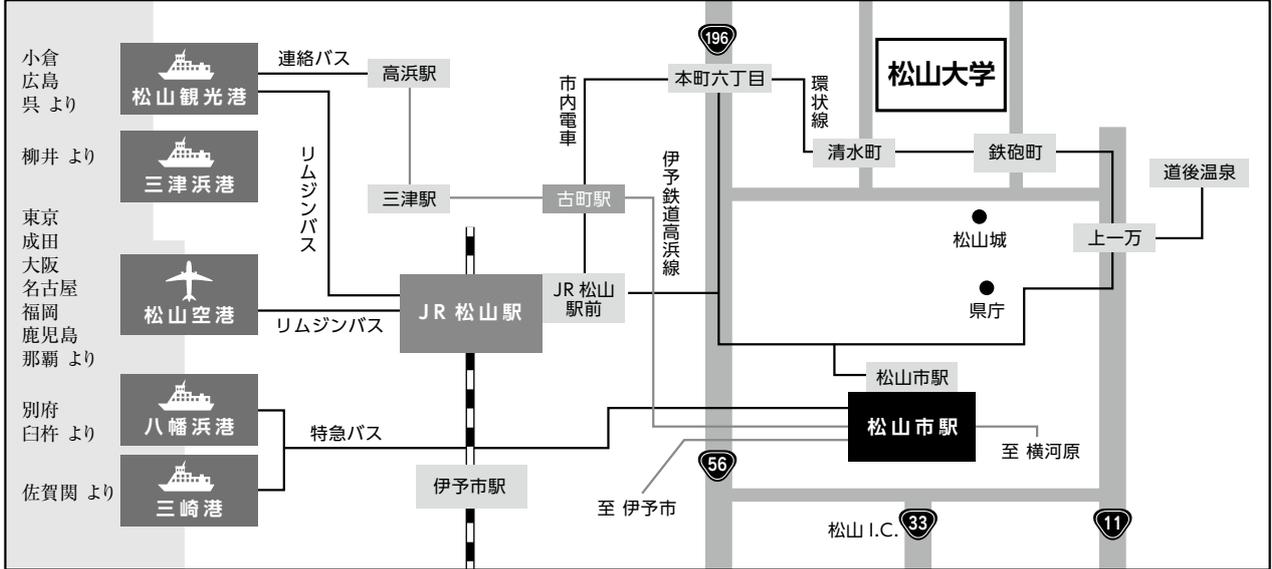
『地域福祉実践現場探訪』

小学校の余裕教室を活用し、高齢者の生きがいづくりの場として、地域交流事業や趣味講座等を実施している「いきがい交流センターしみず」を訪問します。

7 会場アクセス

会場内の駐車場は利用できませんので、公共の交通機関を利用してご来場下さい。

※但し、やむを得ない理由で車を使う必要のある方は前もってご連絡下さい。



主要駅(JR 松山駅・松山市駅・古町駅)まで

飛行機	松山空港	松山空港リムジンバス (15分) ▶	JR 松山駅
船	松山観光港 (小倉・広島・呉)	観光港リムジンバス (20分) ▶ 連絡バス (2分) ▶	JR 松山駅 古町駅
	三津浜港 (柳井)	路線バス (約40分) ▶ タクシー (3分) ▶	松山市駅 古町駅
	八幡浜港 (別府・臼杵)	特急バス (1時間44分) ▶	松山市駅
	三崎港 (佐賀関)	特急バス (2時間44分) ▶	松山市駅
高速バス	三宮 (兵庫)	高速バス (4時間15分) ▶	松山市駅
	高松 (香川)	高速バス (2時間45分) ▶	JR 松山駅
	高知	高速バス (2時間43分) ▶	
	徳島	高速バス (3時間18分) ▶	
	岡山	高速バス (2時間55分) ▶	
	福岡	高速バス (2時間54分) ▶ 新尾道駅経由	

主要駅から大学まで

鉄道	松山市駅	伊予鉄道 市内線電車	2番環状線(大街道経由) (20分) ▶ 1番環状線(古町経由) (15分) ▶	鉄砲町	徒歩 (5分) ▶	松山大学 正門
	JR 松山駅		1番環状線 (10分) ▶			
	古町駅					

8 問合せ先

〒790-8578 愛媛県松山市文京町4番地2

松山大学 人文学部社会学科 中谷 陽明 研究室

E-mail : gakkai_h290603@yahoo.co.jp 【大会事務局専用メールアドレス】